

問1	北極点を中心とした正距方位図法で描かれた地図において、緯線を示す同心円の性質について述べた文として、正しいものはどれですか。ただし、この地図には赤道よりも外側の範囲まで描かれているものとします。 <small>（2025年 島根県公立入試 類似）</small>			
	1. 中心から離れるほど実際の距離が圧縮されるため、赤道より外側の緯線同士の幅は中心付近より狭くなる。	2. 正距方位図法では中心からの方位しか正しくないため、赤道より外側に南半球を描くことはできない。	3. 赤道よりも外側に描かれる円は、すべて北半球にある北緯60度などの高緯度地域を示している。	4. 北極点から赤道を示す円までの距離に対し、赤道から南緯60度の円までの距離は3分の2の長さになる。
問2	1950年から2015年にかけての世界人口の推移を確認すると、アジアやアフリカの地域で特に顕著な人口増加が見られます。この背景にある、人口爆発を象徴する統計上の変化として適切なものはどれですか。 <small>（2021年 愛媛県公立入試 類似）</small>			
	1. 平均寿命の短縮	2. 死亡率の低下	3. 出生率の低下	4. 人口密度の減少
問3	日本の標準時子午線は東経135度であり、アメリカ合衆国のハワイ州ホノルルは西経150度を標準時の基準としています。この2地点間の時差とその計算方法について述べたものとして正しいものはどれですか。 <small>（2016年 鹿児島県公立入試 類似）</small>			
	1. 東経と西経を合わせた経度差が285度（135+150）となるため、これを15度で割った19時間の時差が生じる	2. 経度に関わらず、日付変更線を挟んだ隣り合う時間帯として、常に12時間の時差が生じる	3. 西経から東経を引いた経度差が15度（150-135）となるため、これを15度で割った1時間の時差が生じる	4. 東経と西経を合わせた経度差が285度（135+150）となるため、これを19度で割った15時間の時差が生じる
問4	東京を中心として、中心からの距離と方位が正しく表される正距方位図法の地図において、ブラジルの首都は東京から見てどの方位に位置しますか。この図法の特徴を踏まえて最も適切なものを選びなさい。 <small>（2022年 山形県公立入試 類似）</small>			
	1. 東	2. 西	3. 北	4. 南
問5	ある国の貿易構造について、輸入相手国の割合を見ると、中国が23.1%で首位であり、次いで日本（7.4%）や韓国（5.4%）といった東アジアの諸国が上位を占めています。かつてはヨーロッパとの結びつきが強かったものの、現在はアジア太平洋地域との関係を重視しているこの国はどこですか。 <small>（2018年 和歌山県公立入試 類似）</small>			
	1. オーストラリア	2. イギリス	3. バングラデシュ	4. チリ
問6	東京を中心とした正距方位図法において、東京から北東の方角へ直線を引いたとき、その線は北アメリカ大陸を通過します。この地図の特性と利用目的について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 <small>（2023年 鹿児島県公立入試 類似）</small>			
	1. 緯線と経線が直角に交わっており、等角航路が直線で表されるため、古くから船舶の航海用図として利用されてきた。	2. 地図上のどこかの面積も正しく表されるため、各国の領土の広さを比較するための統計資料用として利用される。	3. どの地点間を結んでもその直線が最短距離を示すため、世界全体の航路を一度に検討する際に利用される。	4. 図の中心点と目的地を直線で結ぶことで、最短距離である大圏航路を知ることができるため、航空図として利用される。
問7	1/25,000の地形図において、標高約150mの山腹にある地点Xから、中央を流れる阿武川を横切り、標高約200mの山頂付近を経由して、標高約50mの平地にある地点Yまで移動したとします。この区間の地形の起伏を断面図として表現したときの説明として、最も適切なものはどれですか。 <small>（2019年 千葉県公立入試 類似）</small>			
	1. 地点Xから地点Yまで、等高線の間隔が常に一定であるため、起伏のない一定の傾斜で標高が下がりが続ける。	2. 地点Xから標高が上がり続け、200mの山頂に達した後川を渡り、そのまま地点Yの平地へと至る直線を描く。	3. 地点Xから一度標高が下がって川を渡り、その後200m付近まで標高が上がってから、地点Yに向かって標高が下がる曲線を描く。	4. 地点Xから川を渡るまで標高は一定で、川を越えた直後に急激に200mまで上昇し、地点Yまでその標高を維持する。
問8	地形図において、地図作成の基準とするために国土地理院が設置した地点のうち、位置（緯度・経度）と標高が正確に測定され、地図上では三角形の中央に点がある記号で示されるものを何というか。 <small>（2019年 愛知県公立入試 類似）</small>			
	1. 標高点	2. 三角点	3. 電子基準点	4. 水準点
問9	地球の自転に伴い、世界各地では時差が生じます。日本の標準時子午線である東経135度と、本初子午線が通るイギリスのロンドンとの時差として正しいものはどれですか。 <small>（2019年 沖縄県公立入試 類似）</small>			
	1. 9時間	2. 15時間	3. 12時間	4. 13.5時間
問10	世界の海洋の特色について述べた文として、アフリカ大陸とオーストラリア大陸の間に位置する「インド洋」の説明として最も適切なものはどれですか。 <small>（2025年 静岡県公立入試 類似）</small>			
	1. ヨーロッパ大陸と南北アメリカ大陸の間に位置し、かつてシルクロードの終着点となった。	2. アジア、アフリカ、オーストラリア、南極の各大陸に囲まれた世界三大洋の一つである。	3. ユーラシア大陸と北アメリカ大陸の間に位置し、三大洋の中で最も面積が広い。	4. 北極点周辺に広がる海洋であり、三大洋の一つとして数えられている。
問11	2000年から2019年にかけてのロシア、中国、インド、ブラジル、南アフリカ、日本の6カ国の経済統計において、中国などの新興国に見られる経済と環境の変化について述べた文として、正しいものはどれですか。 <small>（2024年 千葉県公立入試 類似）</small>			
	1. 一人あたりのGNIの増加率が特に高い中国では、経済活動の拡大に伴い温室効果ガスの排出量も大幅に増加している	2. 先進国である日本の一人あたりのGNIの増加額は、ロシアなどの新興国と比べて最も大きくなっている	3. 新興国では経済成長によって技術革新が進んだため、電力消費量が大幅に減少し排出量が削減されている	4. ロシアでは一人あたりのGNIが減少傾向にあるが、資源の輸出を増やすことで温室効果ガスの排出を抑制している
問12	経線が30度間隔で引かれている地図において、イギリスを通る本初子午線から西側に数えて5本目の経線上にアメリカ合衆国のニューオーリンズが位置しているとします。このとき、イギリスとニューオーリンズの間には何時間の時差が生じますか。 <small>（2024年 福井県公立入試 類似）</small>			
	1. 10時間	2. 5時間	3. 15時間	4. 20時間
問13	世界の地域構成を説明する際に、東南アジアの東側から北アメリカ大陸の西側にかけて広大に広がり、さらにオーストラリア大陸の北東にも位置している、地球上で最も大きな面積を持つ海洋の名称を答えなさい。 <small>（2023年 山形県公立入試 類似）</small>			
	1. 太平洋	2. 大西洋	3. インド洋	4. 北極海

答え合わせ・解説

問1	答え 4 北極点から赤道を示す円までの距離に対し、赤道から南緯60度の円までの距離は3分の2の長さになる。	正距方位図法は「中心からの距離」が正しく表現されるため、緯度1度あたりの図上の長さは常に一定です。北極点（北緯90度）から赤道（0度）までは緯度90度分の距離があり、赤道から南緯60度までは緯度60度分の距離があります。したがって、図上における赤道から南緯60度の円までの幅は、中心から赤道までの幅の60/90（3分の2）に相当します。この図法では、中心から遠ざかるほど形や面積の歪みが大きくなりますが、距離の比率は維持されます。
問2	答え 2 死亡率の低下	20世紀後半からの世界人口の急増は、主に発展途上国における死亡率の低下によって引き起こされました。医療の普及によって感染症による死亡や乳幼児の死亡が抑えられるようになったことが最大の要因です。選択肢にある「出生率の低下」や「人口減少」は、むしろ現在の日本などの先進国が直面している課題であり、人口爆発とは逆の現象を指します。
問3	答え 1 東経と西経を合わせた経度差が285度（135+150）となるため、これを15度で割った19時間の時差が生じる	東経の地点と西経の地点の経度差を求める際は、本初子午線（0度）をまたぐため、それぞれの度数を足し合わせる必要があります。日本（東経135度）とホノルル（西経150度）の経度差は135+150=285度となります。経度15度につき1時間の時差が生じるというルールに基づき、285を15で割ると、19時間の時差があることがわかります。
問4	答え 1 東	正距方位図法は、地図の中心からの距離と方位が正しく表現される図法です。日本（東京）から見てブラジルは地球のほぼ裏側に位置しており、最短コース（大圏航路）をたどると北太平洋を越えて東へ向かうこととなります。そのため、東京を中心とした正距方位図法では、ブラジルは真東の方向に位置するように描かれます。メルカトル図法などの他の地図で見慣れた「西回り」の感覚とは異なる点に注意が必要です。
問5	答え 1 オーストラリア	オーストラリアはかつてイギリスなどヨーロッパ諸国との貿易が中心でしたが、現在は地理的に近いアジア諸国との経済的な結びつきを強めています。特に中国や日本、韓国は資源輸出の主要な相手国であると同時に、工業製品などの主要な輸入元となっており、アジア太平洋経済圏の一員としての特色が色濃く表れています。
問6	答え 4 図の中心点と目的地を直線で結ぶことで、最短距離である大圏航路を知ることができるため、航空図として利用される。	正距方位図法は、図の中心から任意の点までの距離と方位が正しく表されるため、中心から引いた直線が地球上の最短コース（大圏航路）となります。この性質から、主に航空図として利用されます。任意の二点間が最短になるわけではなく、あくまで「中心からの直線」に限られる点に注意が必要です。面積が正しいのは正積図法、等角航路が直線になるのはメルカトル図法の特徴です。
問7	答え 3 地点Xから一度標高が下がって川を渡り、その後200m付近まで標高が上がってから、地点Yに向かって標高が下がる曲線を描く。	地形図において、川が流れている場所は周囲の地形よりも標高が低くなっています。そのため、地点Xから川に向かう際は標高が下がり、断面図では一度沈み込む形になります。その後、山頂に向かうにつれて等高線の数値は大きくなるため標高が上がり、標高200mのピークを迎えます。地点Yは標高50mの平地であるため、山頂からは再び標高が下がる動きを読み取ることができします。
問8	答え 2 三角点	地図作成の際の位置や高さの基準となる地点です。山頂などの見通しの良い場所に設置されることが多く、正確な緯度・経度と標高が測定されています。似た記号に「水準点」がありますが、こちらは主に道路沿いに設置され、高さ（標高）の精密な測定に用いられる基準点です。
問9	答え 1 9時間	地球は24時間で360度自転するため、1時間あたり15度（360÷24）の時差が生じます。日本の標準時子午線は東経135度、ロンドンを通る本初子午線は0度であるため、その差である135度を15で割ると、9時間の時差があることが計算できます。日本はロンドンよりも早く日の出を迎えるため、時刻が9時間進んでいます。
問10	答え 2 アジア、アフリカ、オーストラリア、南極の各大陸に囲まれた世界三大洋の一つである。	インド洋は太平洋、大西洋とともに世界三大洋を構成する海洋です。その範囲はアジアの南側から南極大陸の沿岸まで及んでおり、歴史的にも季節風（モンスーン）を利用した交易が盛んに行われてきた海域として知られています。
問11	答え 1 一人あたりのGNIの増加率が特に高い中国では、経済活動の拡大に伴い温室効果ガスの排出量も大幅に増加している	2000年代以降、中国やロシアなどの新興国では、急速な工業化や生活水準の向上により一人あたりのGNI（国民総所得）が大きく伸びました。これに伴い、産業活動や家庭での電力消費が急増したため、石炭や天然ガスなどの化石燃料を多く使用するようになり、結果として温室効果ガスの排出量も増大する傾向にあります。一方で、同時期の日本などの先進国では、経済が安定期に入っているため一人あたりのGNIの増加幅は新興国に比べて小さくなっています。
問12	答え 1 10時間	地球は24時間で360度回転するため、1時間あたりの経度差は15度（360÷24）となります。問題文では30度間隔の経線が5本分西にあるため、ニューオーリンズは経度150度（30×5）の位置にあることがわかります。この150度を15度で割ると、10時間という時差が導き出されます。
問13	答え 1 太平洋	東南アジア、北アメリカ、オーストラリアの各地域に接しているこの海域は、地球の表面積の約3分の1、海洋全体の面積の約半分を占める最大の海洋です。日付変更線が通っていることや、日本列島の東側に位置していることも大きな特徴です。